

# 運輸日報

年 月 日 (天候) 晴・曇・雨

運転者氏名	
乗務員(作業員)	

登録番号(車番)

出庫地	時刻	初到着地	時刻	最終帰庫地	時刻	走行距離
	:		:		:	
メーター数	km	メーター数	km	メーター数	km	km

トン車	車種
-----	----

統運行管理者	運行管理者	補助者
--------	-------	-----

荷主名	貨物				出発地	時刻	到着地	時刻	実車 km	空車 km	運賃					
	品名	数量	※積載重量	※積載状況							基本料金	割増・引	料金	実費	合計受取額	
					メーター数	km	メーター数	km								
					メーター数	km	メーター数	km								
					メーター数	km	メーター数	km								
					メーター数	km	メーター数	km								
					メーター数	km	メーター数	km								
					メーター数	km	メーター数	km								
見本																
合計																

事項	時間	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23																							計	合計		拘束時間	
																										時間	分		時間
乗務の開始、終了、経過地点と運転交替の地点																													
月(日) 労働時間	運 転																								( )				
労働時間	運転以外の仕事																								( )	( )			
曜日	休憩・仮眠																												
	カーフェリー																												
	休息期間																												
燃料油脂		給油時		首都高速		高速道		その他費用		合計		休憩・仮眠の地点																	
給油		オイル		メーター数		回		回		円																			
円		円		円		円		円		円																			

事故、著しい遅延その他異常な状態と、概要・原因など

※貨物の重量または貨物の個数、貨物の荷台等への積付状況を可能な限り詳細に記録して下さい。

※この記録は一年間保存して下さい。

# 日常点検表

平成 年 月 日 (天候) 晴・曇・雨

運転者名	登録番号 又は車番	号	整理 管理者印	運行 管理者印
------	--------------	---	------------	------------

点検箇所	点検内容	点検結果	点検箇所	点検内容	点検結果
①ブレーキ	踏みしろ・効き具合		⑤灯火装置・方向指示器	点灯・点滅具合・作用・汚れ・損傷・レンズ・反射器の変色	
	☆踏みしろ・効き具合			⑥ウインドウウォッシュ・ワイパー	※1 液量・噴射状態
	(ブレーキ・オイル)液量		※1 拭き状態		
	☆空気圧の上げ具合		⑦エア・タンク	※1 水	
	☆排気音の異常			シート紙装着	有・無
②タイヤ	引きしろ (駐車ブレーキ)		非常信号用具 停止表示板	有・無	
	空気圧		⑧その他	自動車検査証・自賠責保険証・整備記録簿携帯	有・無
	亀裂及び損傷			工具、スペア・タイヤの 位置固定	有・無
	異常摩耗		⑨前日の運行における異状箇所	有・無	
③バッテリー	※1 溝の深さ		不良箇所及び処置確認		
	※2 ディスク・ホイールの 取付状態				
④原動機	※1 液量		備 考		
	※1 冷却水の量				
	※1 ファンベルトの 張り具合・損傷				
	※1 エンジン・オイルの量・汚れ				
	※1 かかり具合・異音				
	※1 低速・加速の状態		点検良 ✓ 要整備 ×	運行	可・否

- (注) ※1 印の点検は、走行距離・運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りる。  
 ※2 印の点検は、車輛総重量 8 トン以上の自動車に限る。  
 ☆印はエア・ブレーキが装着されている車両の点検項目です。また、運行状況により適切な時期に、次の点検をします、
- ブレーキ・ドラムとライニングのすき間が手動調整方式のものにあっては、規定の空気圧の状態  
で、ブレーキ・ペダルを数回操作し、ブレーキ・シューを安定させた後、点検孔のあるものはシッ  
クネス・ゲージにより、また、点検孔のないものはアジャスタにより、すき間を点検する。
  - フル・エア・ブレーキが装着されているものにあっては、既定の空気圧の状態で補助者にブレーキ・  
ペダルをいっぱい踏み込ませ、ブレーキ・チャンバのロッドのストロークが既定の範囲にある  
かをスケールなどで点検する。